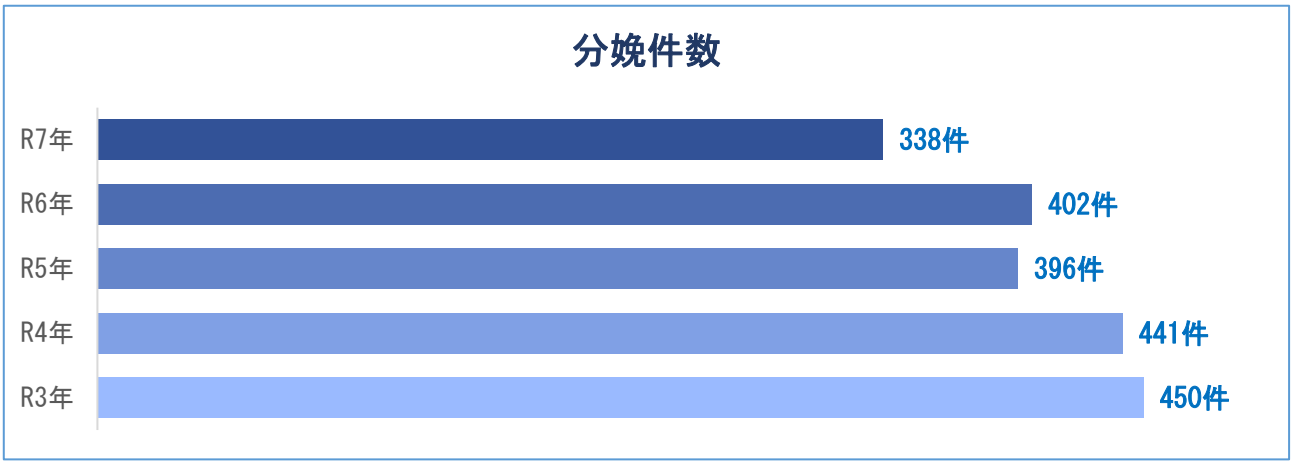
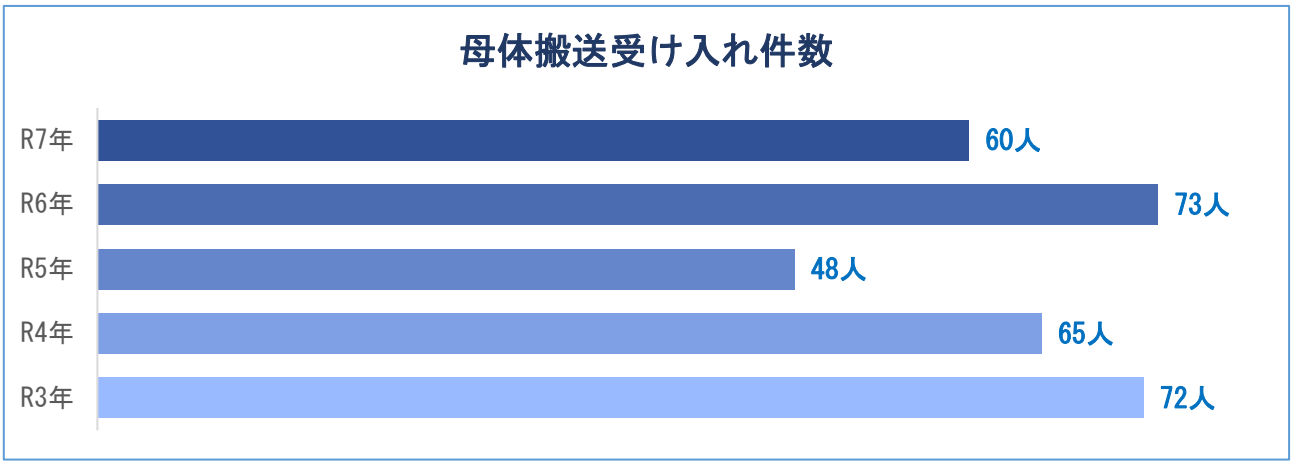
周産期、小児救急医療に関する臨床指標

指標名		R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	説明
分娩件数（単位＝件）		450件	441件	396件	402件	338件	クリニックの先生方から産婦人科の医師に直接連絡を入れられる体制がとられ、母体搬送の患者さんを円滑に受け入れることが可能となりました。 今後も断ることなくすべて引受けて参ります。
内訳	経膣分娩	304件	281件	260件	259件	204件	
		67.6%	63.7%	65.7%	64.4%	60.4%	経膣分娩には正常分娩、早期産、鉗子分娩、吸引分娩、12週0日から21週6日までの流産が含まれます。 正常分娩とは、正期産（37週から41週）の経膣分娩をいいます。
	帝王切開	149件	160件	136件	143件	134件	
		33.1%	36.3%	34.3%	35.6%	39.6%	
	（再掲）緊急帝王切開	57件	68件	62件	65件	66件	
正常分娩（単位＝件）		246件	257件	233件	225件	178件	母体搬送とは、妊娠中や分娩時に母体または胎児にトラブルが発生し、現在の医療機関では対応が難しい場合に、より高度な周産期医療が提供できる高次医療機関へ妊婦さん自身を救急搬送することです。
多胎分娩（単位＝件）		20件	17件	18件	20件	22件	
母体搬送受け入れ件数（単位＝人）		72人	65人	48人	73人	60人	
小児科医師立ち会い分娩数（単位＝件）		201件	201件	185件	165件	181件	当院には小児科医師が24時間院内に待機しており、ハイリスクの分娩等が予測された場合は小児科医師が児の対応のため立ち会います。
NICU入院患者数（単位＝人）		193人	188人	184人	201人	218人	NICUとは、小さく生まれた赤ちゃんや病気を持って生まれた赤ちゃんなどが入院する病棟のことです。
新生児搬送NICU入院患者数（単位＝人）		94人	62人	103人	91人	99人	他の医療機関から当院NICUに搬送された赤ちゃんの人数です。
救急外来での小児（16歳以下）夜間受け入れ件数（単位＝人）		2,062人	2,545人	3,492人	2,896人	3,329人	当院の救急医療センターで受け入れた16歳以下の患者さんの人数です。 夜間は当日17:00から翌日8:30までの時間帯です。

４）周産期・小児救急医療に関する臨床指標





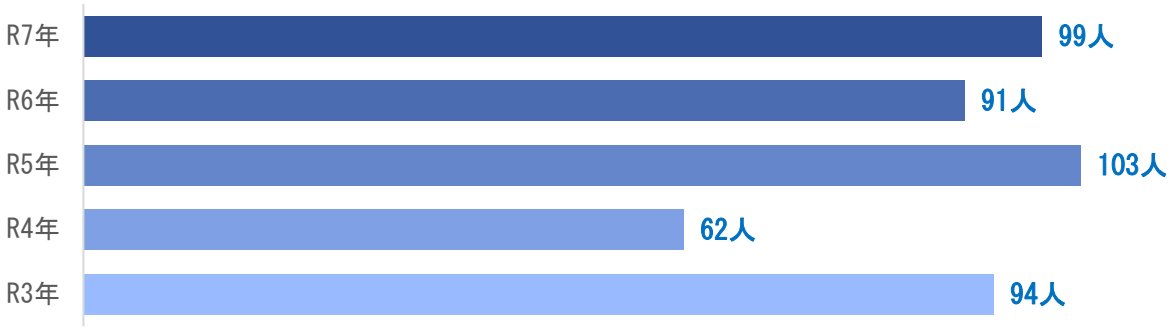
周産期とは妊娠 22 週から出生後 7 日未満のことをいい、周産期医療とは妊娠、分娩に係る母体・胎児管理と出生後の新生児管理を主に対象とする医療のことを言います。
当院では、地域周産期母子医療センターとして、地域の産婦人科医院や、総合周産期母子医療センターである県立こども病院と協力して、主に長野県北部一帯の妊産婦・新生児のケアにあたっています。
クリニックの先生方から産婦人科の医師に直接連絡を入れられる体制がとられ、母体搬送の患者さんを円滑に受け入れることが可能となりました。今後も断ることなく、すべて引受けて参ります。
母体搬送とは、妊娠中や分娩時に母体または胎児にトラブルが発生し、現在の医療機関では対応が難しい場合に、より高度な周産期医療が提供できる高次医療機関へ妊婦さん自身を救急搬送することです。

小児科医師立ち会い分娩数



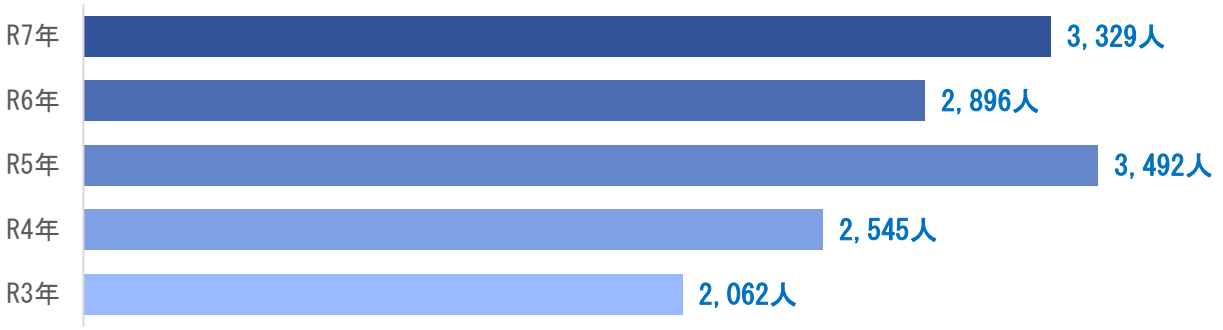
当院には小児科医師が 24 時間院内に待機しており、ハイリスクの分娩等が予測された場合は小児科医師が児の対応のため立ち会います。

新生児搬送NICU入院患者数



ＮＩＣＵとは、小さく生まれた赤ちゃんや病気を持って生まれた赤ちゃんなどが入院する病棟のことです。周産期センターはＮＩＣＵ病床９床を活用し、集中治療が必要な新生児を診療しています。当院で出生された方だけでなく、地域の医療機関で出生されたＮＩＣＵ管理が必要な赤ちゃんを受け入れています。

救急外来での小児夜間受け入れ件数



当院の救急医療センターで、夜間 17：00 から翌日 8：30 までの時間帯に受け入れた 16 歳以下の患者さんの人数です。
救急では、小児科医が小児科ホットラインを必ず携帯し、いつでも小児救急患者を受け入れられる体制を整えています。